

復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【資料を読み、自分の考えを明確にして書く問題】レベル11・12

1 次の問題を解きなさい。

中学生の佐藤さんは、国語の授業で「日本語」をテーマに、スピーチをすることになりました。普段耳にする日本語の使い方の中で、気になったことや興味を持ったことについてまとめました。佐藤さんのスピーチ原稿を読んで、あとの問いに答えなさい。

あなたは「食べられない」？「食べれない」？

佐藤 花子

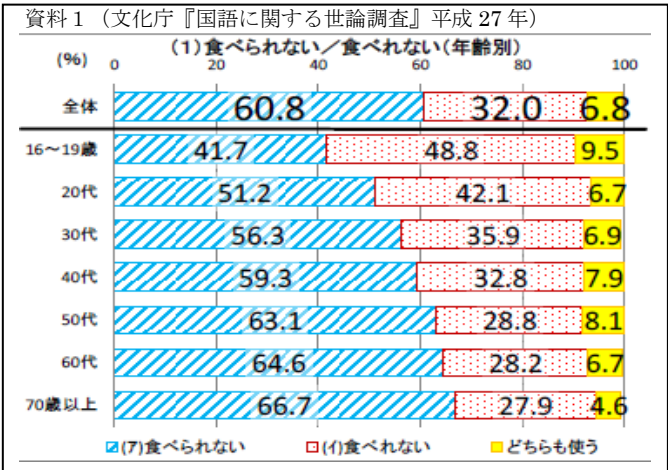
先日、自宅で「もう食べれないよ。」と言ったところ、祖母に『食べれない』ではなくて、『食べられない』が正しいよ。」と訂正されました。そういえば国語の授業で書いた作文でも担当の先生に『ら抜き言葉』はやめましょう」と指摘をされたことがあります。そこで、私が普段気がつかずにつかっている「ら抜き言葉」について調べてみようと思いました。

まず、文化庁のホームページで調べてみました。そこには、「いわゆる『ら抜き言葉』とは可能的意味の『見られる』『来られる』等を『見れる』『来れる』のように言う言い方のことで、話し言葉の世界では昭和初期から現れ、戦後更に増加したものである。（中略）しかしながら、この言い方は現時点ではなお共通語においては誤りとされ、少なくとも新聞等ではほとんど用いられていない。」とありました。

次に、どのくらいの割合の人が「ら抜き言葉」を使っているのか調べました。文化庁の平成27年国語に関する世論調査では、資料1の通り、全体では六割の人が「食べられない」を使っていました。年代別に見てみると、16歳から19歳の人の半数近くが「食べれない」を使っているが、50代以上では三割未満にとどまっていることがわかります。このことから、「食べれない」という「ら抜き言葉」を使うかどうかは、世代によって大きな違いがあることがわかりました。

私は、新聞等でもほとんど使われないということから、やはり正しい日本語を使うことが大切だと思います。だから、「ら抜き言葉」使わないように気を付けたいと思いました。

みなさんは「ら抜き言葉」を使う人が増えていることについて、どう思いますか。みなさんの考えを聞かせてください。



復習シート 第三学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【資料を読み、自分の考えを明確にして書く問題】レベル11・12

1

次の問題を解きなさい。

中学生の佐藤さんは、国語の授業で「日本語」をテーマに、スピーチをすることになりました。普段耳にする日本語の使い方の中で、気になったことや興味を持ったことについてまとめました。佐藤さんのスピーチ原稿を読んで、あとの問いに答えなさい。

あなたは「食べられない」？「食べれない」？

佐藤 花子

先日、自宅で「もう食べれないよ。」と言ったところ、祖母に「『食べれない』ではなくて、『食べられない』が正しいよ。」と訂正されました。そういえば国語の授業で書いた作文でも担当の先生に「『ら抜き言葉』はやめましょう」と指摘をされたことがあります。そこで、私が普段気がつかずにつかっている「ら抜き言葉」について調べてみようと思いました。

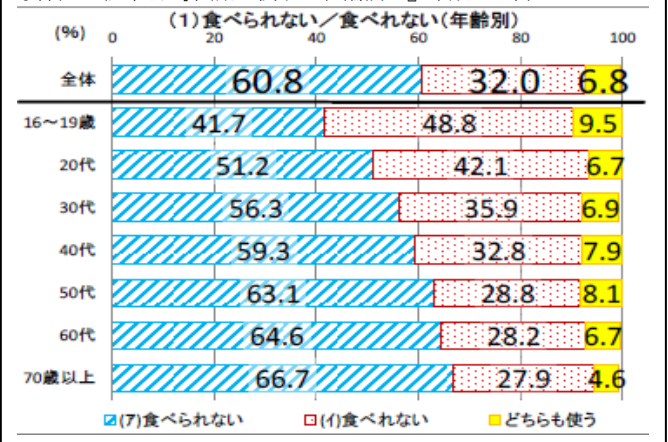
まず、文化庁のホームページで調べてみました。そこには、「いわゆる『ら抜き言葉』とは可能的意味の『見られる』『来られる』等を『見れる』『来れる』のように言う言い方のことで、話し言葉の世界では昭和初期から現れ、戦後更に増加したものである。（中略）しかしながら、この言い方は現時点ではなお共通語においては誤りとされ、少なくとも新聞等ではほとんど用いられていない。」とありました。

次に、どのくらいの割合の人が「ら抜き言葉」を使っているのか調べました。文化庁の平成27年国語に関する世論調査では、資料1の通り、全体では六割の人が「食べられない」を使っていました。年代別に見てみると、16歳から19歳の人の半数近くが「食べれない」を使っているが、50代以上では三割未満にとどまっていることがわかります。このことから、「食べれない」という「ら抜き言葉」を使うかどうかは、世代によって大きな違いがあることがわかりました。

私は、新聞等でもほとんど使われないということから、やはり正しい日本語を使うことが大切だと思います。だから、「ら抜き言葉」使わないように気を付けたいと思いました。

みなさんは「ら抜き言葉」を使う人が増えていることについて、どう思いますか。みなさんの考えを聞かせてください。

資料1（文化庁『国語に関する世論調査』平成27年）



(問い) あなたは、佐藤さんの発表を聞いて、「ら抜き言葉」を使うことについて、あなたはどのように考えますか。後の注意に従って、あなたの考えを書きなさい。

(注意)

1. 第一段落には、ら抜き言葉を使うことに対して賛成か反対か、どちらの立場であるかを書くこと。
2. 第二段落以降に、賛成または反対の理由を、自分の体験（見たことや聞いたことなども含む）をふまえて書くこと。
3. 文章は十三行以上十五行以内で書くこと。
4. 原稿用紙の正しい使い方に従って、文字・仮名遣いも正確に書くこと。
5. 題名・氏名は書かず、一行目から本文を書くこと。

(解答例)

私は「ら抜き言葉」を使うことに賛成です。

私は普段「ら抜き言葉」を使っています。グラフを見ると、年代が若くなるにつれて使う人が増えています。これは、言葉が変わっていつていることを表しているのだと思います。以前、「言葉は生き物である」と聞いたことがあります。時代が変わるにつれて使われる言葉は変わっていきます。そうして文化も進化してきました。変わることは悪いことではありません。変化を柔軟に受け入れることも必要だと私は考えます。

私は反対です。

私はたまに「ら抜き言葉」を使ってしまう、親や先生に指摘されます。それは、社会に出たときに正しい言葉を使えないと恥ずかしいことだからだと思います。グラフでは、年齢が高い人ほど「ら抜き言葉」を使っていません。よい伝統は守っていく必要があります。それは、言葉遣いも同じです。若者言葉に流されるのではなく、社会に出たときにもすべての人に対して恥ずかしくない言葉が使える人になりたいと思います。

- ・条件①～③に合っているか、一つ一つ確認しましょう。
- ・特に、自分の体験をふまえて書いているか、確認しましょう。
- ・原稿用紙の正しい使い方が分からないときは、教科書などでもう一度点検してみましょう。
- ・「です」「ます」や「だ」「である」のように、文末表現をそろえましょう。

